

## 2008 English Reading

2008年のリーディングは典型的な出題形式と言えるが、1題が学術的論文、1題が小説であった。前者がアメリカの科学雑誌掲載の論文、後者がイギリスを拠点に活躍する作家の作品であり、アメリカ英語とイギリス英語の両方を載せている点も、国際教養学部ならではの出題と言える。どちらの問題も英文も難易度が高いため、長時間かけて細部までを理解するより、短時間で大意を理解する練習をしたい。

## Part 1

## 全訳

最新の研究が長年の矛盾を解決する一つのヒントになるかも知れない。男性の脳は、男性の方が体が大きいという点を考慮しても女性の脳より平均で100グラム重い<sup>1</sup>。2005年の研究によると脳の大きさは知能に関連があるが、しかし両性のIQテストのスコアはほぼ同じである。

女性の脳は小さいにも関わらず、それを補うだけの明らかに優れた特徴を持っている。女性は神経細胞体の領域である灰白質が大きいのである。さまざまな研究によって、女性は男性より言語や記憶の作業に秀でており、そして言語を司る脳の領域の一つである、上側頭皮質は女性の方が29パーセントも大きいということが分かっている。さらに女性の脳の血流量は15%も多く、年をとっても認識能力が失われにくい。女性の脳はまた神経細胞の密度が高く、より効果的に機能することを示唆している。

たとえば、サンドラ・ウィテルソンとその同僚がマックマスター大学マイケル・G・デグレート医学部において行った人間の脳細胞の分析によると、女性の脳細胞は、言語処理、理解、記憶に関わる側頭皮質において、男性のものより11パーセントも密度が高いことが分かった。「小さな女の子は男の子と比べて言語能力の発達が早く、また言語音の識別がうまくできます」とウィテルソンは述べている。

これは女性の方が学校の成績がよい理由の一つかもしれない、単に人を喜ばせたり、椅子に静かに座っているようにつけられているからだけではない。行動学の研究によると幼稚園や小学一年生でさえ、女子は男子よりはっきりと言葉を発することができ、字がきれいで、質問に答えるのが速いとカリフォルニア大学サンフランシスコ校の研究者で、

『女性の脳』の著者であるローアン・ブリゼンディニは述べている。次第にこの傾向は明白なものになっており、今では大学院に進学する女性は男性よりも多い。

女性の脳とは対比的に、男性の脳はより多くの白質で満たされており、それは脳のより離れた他の部位と交信するより長い神経線維からできている。白質はまた、大脳皮質内の情報を妨げる神経線維をも含み、局所的な処理能力を高めている。男性の物体と位置

<sup>1</sup> 男性と女性の体型が同じであったとしても、男性の方が100グラム脳が大きいという意味。

に関する合理的判断に関する明らかな優位性だけでなく、熱心に仕事に集中したり、気を散らすものを閉め出す能力は、この白質に要因があるのではないかと、フィラデルフィアにあるペンシルバニア大学の脳行動研究所所長であり、心理学者であるルーベン・ガーは述べている。したがって男性が今なお建築学や有機化学、物理学、脳外科の分野で支配的な立場にあるのは不思議なことでない。女性のチェスの名人はあまりおらず、また女子は男子のようにビデオゲームを何時間も座ってやっているということはあまりない。

男性は頭の中で物体を回転させること、つまり物体を別の角度から見るとどのように見えるかを素早くイメージすることができ、また太陽を見ることで場所を特定する体内コンパスを持っている。一方女性は、道順を見つけるのに目印を頼りにする。教会で右に曲がり、消防署を過ぎて左に曲がる、といった具合にである。

遺伝的自然淘汰が起こるには何十万年もかかるので、方角を把握する方法の性的な違いは石器時代にまで遡るのだろう。恐らく女性は子供たちの面倒をみて、家の近くで作業をし、帰り道を見つけるために見慣れた風景を用いよう。一方男性は狩人であり、食料を得るために、未知の領域に踏み込んでいった。恐らく男性達は移動した距離と方角から自分たちのいる場所を把握したのだろう。

何千年にも渡り、男性と女性は移動に関して明らかに異なる思考回路を発展させ、男性は慣れない土地を歩くのに幾何学の手がかりを用いるすべを得た。たとえば 2000 年にドイツで行われた実験によると 3D バーチャルリアリティの迷路を抜けるのに、女性は 3 分 16 秒かかったのに対し、男性は平均で 2 分 22 秒で、女性よりずっと早く抜けることができた。

脳の映像化技術のおかげで、男性は左の海馬を用いて迷路を抜け出す道を探し出していることが分かったが、これは記憶を司る領域であり、物理的環境を認識する部位でもある。女性は左の頭頂部と前頭前野を用いており、これは視覚的な認識と推理に関連している。研究者によると、女性が前頭前野を用いていることは、迷路から抜ける際に目印に依存し、脳内で物体を映像化していたことを示唆している。一方男性は目印と形状や角度といった幾何学的な手がかりの両方を用いている。

こうした能力のおかげで、男性は目印のない砂漠や、未踏の海を渡って、遠く離れた土地を進むことができたのかもしれない。アーネスト・シャクルトンの率いる南極探検隊の隊員であるニュージーランド出身のフランク・ワースリーが、南極の島で遭難した 28 人の命をほとんど体内のコンパスだけよって救った 1916 年の出来事はその一例として有名である。

ワースリーは 22 フィートの救命ボートで離島を出発し、南大西洋を渡り、助けを得られた南アフリカの南端近くの南サンドイッチ諸島の捕鯨の港のある島に行き着くまで、最終的に 800 マイルを航海した。ワースリーは嵐の続いた 17 日間の航海でたった 4 回しか太陽を見ることができず、それ以外は彼の体内コンパスに頼っていた。

怒りや感情を害する状況をどのように対処するかという場合、女性は胃にむかつきを覚え、男性は態度に出るかもしれないが、それらは男女の脳がどのように進化してきたかという本質的な違いに由来するのかもしれない。

2002年のMIR スキャンを使った研究によると、攻撃的な行動を制御する脳の領域は、女性の方が男性よりも比較的大きいことが分かった。より原始的でアーモンドの形をした脳の深い部分にある扁桃核は、生存本能を刺激し、アドレナリンを分泌させることで人間を興奮させる。女性の脳は男性と比べると、冷静な判断を司り、額の後ろに位置している、眼窩前頭皮質が扁桃核の大きさに対して明らかに大きい。

ここで示唆されていることは、感情的に緊張した状況下においては、女性は男性よりも感情をうまくコントロールできるということだ。女性は男性より大きな制御機構を持っているので、不安定な状況を爆発させるより、抑えようとするのである。

その例としては、最近の有名人の不品行を見れば十分である。警察関係者の話によると、パリス・ヒルトンが飲酒運転の疑いで明け方の時間帯に逮捕された時、彼女は「協力的」であったという。しかしアルコールは前頭葉の働きを抑え、人間の怒りや攻撃性を制御する能力を低下させる。例えばメル・ギブソンが同じ理由で警察に止められたとき、彼は完全に我を失っていた。

ラリー・カーヒルとその同僚がカリフォルニア大学アーバイン校で記憶を司る脳の能力の性的な違いを突き止めるための一連の研究を行った際、同様の結論にいきついた。扁桃核は感情的な記憶の処理も司るのだが、研究者たちはそれが男性と女性とでは異なった動きをすることを発見した。ある実験で、ボランティアたちはとても暴力的な映画を見せられ、その間PET スキャンによって脳の働きが計測された。

非常に心をかき乱す映像を処理するために、男性はより外の世界と調和し、視覚と運動神経と関連した扁桃核の右半分を活性化させた。一方、女性は左半分を活性化したが、これは体内の環境により集中し、感覚器官が得た情報を感情表現に解釈する島皮質や、特定の基本的機能の総合的な調整機能を司る視床下部と関連している。

ウィテルソンは以下のように述べている。「男性が強い感情的な刺激を受けると、運動器官の一部が活性化されますが、これは恐らく男性がそのような状況を行動によって打開しようとする理由であると考えられます。」「一方女性の場合、消化を調整している視床下部が活性化するので、女性が本当に憤慨しているとき、吐き気を覚え、眠れないという症状が出ることはあるのは、ある意味で当然であるということです。」

右脳は状況の中心的事項、本質を抽出するが、左脳はより細かなポイントを考慮し、詳細を追う。左右の扁桃核の差は、なぜ女性がどこにいて、何を着て、どの時間帯だったかなど、新婚旅行の苦々しい口げんかの詳細まで覚えているのに、男性がげんかのことをほとんど思い出せないということの説明になるだろう。

Vocabulary

段落

clue (名) 手がかり、ヒント (noun) evidence that helps to solve a problem

paradox(名) 矛盾 逆説 (noun) a self-contradiction

correlated(形) 関連がある,相関関係にある (adj.) mutually related

段落

level the playing field 条件を同じにする、ハンディをなくす

distinct (形) はっきりとした、明瞭な (adj.) clear

gray matter 灰白質 (かいはくしつ) 脳及び脊髄における神経細胞の集中した灰白色の箇所。

nerve cell body 神経細胞体 神経細胞の核や細胞質のある部分

superior temporal cortex 上側頭皮質 (じょうそくとうひしつ)

cognitive (形) 認識の (adj.) aware

offsets (名) 埋め合わせる (noun) balances the effect of an opposite one

段落

speech sound 言語音 (一般の音や咳、くしゃみなどと区別して言う言語な表現)

段落

condition (他動) ~を慣らす、訓練する (verb) train or accustom to behave in a certain way

first grade 小学校の一年生 students beginning elementary school

articulate (他動) ~をはっきりと話すことができる (verb) pronounce words distinctly

outnumber (他動) ~に数でまさる (verb) exceed in number

go on to graduate 大学院に進学する

段落

white matter 白質 中枢神経系で主に神経線維の集合から成る白色の部分

cortex (名) 大脳皮質

enhances (他動) (価値、精度などを) 高める (verb) improve the quality, value

clear-cut はっきりとした、疑う余地のない

intently (副) 熱心に、夢中で (adv.) with concentration, purposefully

distractions (名) 気を散らすもの (noun) a thing that diverts someone's attention

grandmaster (名) チェスの上位プレイヤー(noun) a player of exceptional or world class skill in chess

段落

landmark (名) 目印(となるもの) (noun) an object or feature of a landscape or town that is easily seen and recognized from a distance.

段落

hundreds of thousands 何十万も

in all likelihood 恐らく、ほとんど確実に

orientation in space 空間における位置、つまり場所のこと

段落

millennia (名) 千年間 (noun) a period of 1,000 years

get around あちこち移動する

段落

hippocampus (名) 海馬 (かいば) 大脳辺縁系の一部で、側頭葉の裏側にある部位。古皮質に属し、記憶に重要な関わりをもつ。

段落

Antarctic (名)(形) 南極(の)

段落

lifeboat (名) 救命艇、救命ボート

段落

stem from から生じる (=come from, originate in)

段落

in proportion to ~ に比例して

amygdale (名) 扁桃状部

Orbitofrontal cortex 眼窩前頭皮質 (ヒトの脳にある連合皮質の領域の一部で、意思決定などの認知処理に関わっているとされている)。

段落

braking mechanism ブレーキ機構

defuse (他動)(爆弾など)から信管を取り除く、(緊張を)和らげる(verb) to remove the fuse from (as a mine or bomb)

volatile (形) 揮発性の、不安定な (adj.) evaporating easily, rapidly changing

段落

suppress (他動) 抑圧する、押さえる (verb) keep under control

aggression (名) 攻撃、攻撃性 (noun) violent behavior or attitudes

lost temper かつとなる、我を失う

段落

PET scan 放射断層撮影法スキャン (positron-emission tomography scan)

段落

fire up 点火する、活性化させる

hemisphere (名) 半球、脳半球 (noun) one half of a sphere or globe

insular cortex 島皮質(とうひしつ) 人間の脳の構造

hypothalamus (名) 視床下部(ししょうかぶ) 自律機能の調節を行う総合中枢

段落

stimulus (名) 刺激 (noun) something that rouses the mind or spirits

digestion (名) 消化 (noun) process by which the body breaks down and absorbs food

feel sick 吐き気を催す、むかむかする

### 段落

extract (他動) 抽出する、引き抜く (verb) to draw out, pull out

consequently (副) 結果的に (adv.) as a result, therefore

illuminate (他動) 照らす、明らかにする (verb) help to clarify or explain

## Outline

アメリカの大衆向け科学雑誌、"Discover"に掲載された論文からの出題。最新の脳の研究から、男女の性的な違いを論じている。男女の性差に関するトピックは、様々な大学で頻出のトピックであるので、押さえておきたい分野である。この英文のレベルになると、英語そのものの知識に加え、背景知識も求められる。過去問演習などを通してなるべく多くの英文にあたり、同時に様々な分野の知識を得ていくようにしたい。語彙に関しては非常に専門的な用語が出題されているので、分からなくてもあまり気にせず、また無理に覚える必要はない。日本語で読んでも分からない用語があるほどなので、この英文も細部は気にせず、大枠を理解した上で、問題に答える技術を磨きたいところ。

## I. Answers

(1) (a)-C (b)-F (c)-I (d)-A (e)-G (f)-E (g)-B (h)-H (i)-J (j)-K

(2) 1-E 2-D

(3) a-T b-F c-F d-F e-T f-F g-T

## (1) A ~ J の空欄に入る適切な語を選べ。同じ語を 2 回使ってはいけない。

< POINT >

この問題に関しては空所が多く、後から読み直すのが大変なので、読み終わってから戻って解くのではなく、読みながら空所補充の問題をやるべきだろう。

(a) - C (better able to)

この空所には前後関係より女子が男子よりも優れているという意味が入る。"(be) better able to"で「～より上手に～できる」という意味になるので、Cの"better able to"が正解。空所の直前に be 動詞、直後に動詞の原形が来ている点にも注目する。文としては「小さな女の子は男の子と比べて言語能力の発達が早く、また言語音の識別がうまくできる」という意味になる。

(b) - F (it's note merely)

第4パラグラフの"This may be part of reason..."のThisは、第3パラグラフの最後の文の内容を指している。つまり前問で検討したように、「小さな女の子は男の子と比べて言語能力の発達が早く、また言語音の識別がうまくできる」という内容である。よって空所の前の箇所は「女子が学校でよい成績をあげている理由の一つは女子の方が言語能力の発達が早いから」という意味になる。よって筆者は空所以下の「しつけ」に関する内容だけが女子の成績がよいことの原因とは考えていないことが分かるので、fの"it's not merely"が正解。「これは単に人を喜ばせたり、椅子に静かに座っているようしつけられているからだけではない。」

(語彙 not merely 単に～のみならず、～ばかりではなく)

(c) - I (over time)

ここは幼稚園や小学一年生ですら女性が学力で優位にあるパターンが見られており、そのパターンは大学においてより明らかになる、という文脈である。よって(時間がたてば)よりこの傾向が明らかになるのだから、空所には「時間がたてば、やがて」という意味の語を入れるのが適切なので、Iの"over time"が正解。なおこの箇所は[:]コロンで繋がっているが、コロンは多くの場合それ以前の内容の説明や、言い換えであり、「つまり」と同等の意味を持つことが多い。

(語彙 over time 時間がたてば、いずれ、長期にわたると)

< POINT >

句読点

[:]コロンはそれ以前に言ったことの説明や、言い換えなどの時に文章の最後に付けられる。(日本語で「つまり」の意味で用いられることが多い)

[;]セミコロンは「強いコンマ(,)」ないし「弱い終止符(.)」。主に順接または逆接の意味で付けられる。

[\_]ダッシュは一般的に挿入に用いる。

(d) - A (as well as)

該当箇所では「物体と位置に関する合理的判断に関する明らかな優位性」と、「熱心に仕事に集中したり、気を散らすものを閉め出す能力」とが、どちらも男性の脳の特性による優位点であり、並列の関係にある点にある。よって空欄には並列関係にある2つの要素を繋ぐ表現が入るので、Aの"as well as"が適切。

(A as well as B BだけでなくAも、BはもちろんAも)

この文の「(b)だけでなく(a)も」という構文は以下の通り。

The white matter may be what gives men (a)their ability (to focus intently on work and tune out distractions), as well as (b)their clear-cut superiority (when it comes to

reasoning about physical objects and locations).

(e) - G (little wonder)

これは意味から答える問題。第 5 パラグラフは男性の脳の特徴を元に、それが実際の能力において、どのような優位点を持っているかが述べられている。空欄の後の箇所は、脳の特徴を元に、実社会において男性が優位である点を述べているので、ここには「当然である」という表現があることが分かる。選択肢においては G の"little wonder"が適切。(It is) little wonder (that)で「～なのは当然だ、～なのは不思議ではない」という意味になる。この文では It is が省略されている。また"little wonder"は"no wonder"と同義。

< POINT >

第 5 パラグラフの構造は以下の通り

1. 男性の脳の特徴
2. 男性の脳の特徴に起因する処理能力の優位点
3. 優位点に起因する社会的職業上の利点

脳の特徴という詳細な部分から、社会的な優位点という大きな概念にまで発展している点を読み取りたい。

(f) - E (in all likelihood)

語彙の問題だが、"in all likelihood"で「たぶん、恐らく、ほとんど確実に」という意味になる。「恐らく彼らは自分たちのいる場所をどれだけ移動したかということと、向きから把握したものと言える。」よって E が正解。

(g) - B (because)

これは比較的答えやすい。空欄の後に 2 つの節(主語 + 動詞を含む表現)が続いており、節を繋ぐためには接続詞が必要である。また、意味的にも理由を表す表現がここには入るので、B の because が正解。

ex.

His father was in Japan when he was a little boy.

When He was a little boy, his father was in Japan

2 つの節を接続詞が繋ぐ例。SV を含む節が二つあり、接続詞(when)が 2 つの節を繋いでいる。

(h) - H (no further than)

これは意味から答える問題だが、前のパラグラフで述べられている女性の方が緊迫した状



況でも感情をコントロールできるという状況の例は、有名人の不品行を見ればよい、という意味になっている。つまり筆者は有名人の例を挙げるだけで説明になるということが言いたいので、Hの"no further than"が適切。

(i) - J (reducing)

まず意味からアルコールが脳の働きを抑制し、さらに怒りや攻撃性を制御する能力を「低下させる」わけであるから、ここではJの"reducing"が正解。なおこの文の reducing 以下は分詞構文で、ここでは単純接続(and)と考えればよい。単純接続とは and で2つの節を繋ぐものである(下記参照)。

ex. 単純接続の分詞構文

But alcohol suppresses the frontal cortex and reduces one's ability to control anger or aggression.

But alcohol suppresses the frontal cortex, reducing one's ability to control anger or aggression.

「しかしアルコールは前頭葉の働きを抑え、(そして)人間の怒りや攻撃性を制御する能力を低下させる。」

(j) - K (which)

ここでは先行する節と、空欄を含む箇所の動詞の主語になる語、つまり関係代名詞が入るので、Kの which が正解。文法用語を用いるとこのような説明となるが、単純に前の箇所を受けているのが which と考えてもよいだろう。

## (2) 本文中の下線に関連した、以下の文を完成させる上で、適切な選択肢を選べ

1 「女性が条件を同じにする明らかな優位点を持っているというのは...を示唆している。」

×A 男女の脳がどのように機能しているかという深い理解は、男女の平等を深めるきっかけとなってきた。

×B 男女の脳における進化上の違いは、年月を経るにつれて減ってきた

×C 男女の不平等は、は男女の脳の機能の仕方の違いによって説明し得る

×D 総じて男性の方が女性よりも高い知能を持つが、女性が男性に対して持つその他の優位点によって男女の相互の関係は平等なものとなっている。

E 女性の方が脳の大きさが小さいが、女性の方が知能的に男性より劣っているわけではない。

これは第2パラグラフの先頭の文の解釈の問題となる。"level the playing field"は「条件を同じにする、ハンディをなくす」という意味であり、この文は「女性の脳は小さいにも関わらず、それを補うだけの明らかに優れた特徴を持っている。」と訳することができる。よってこの文や、その後から「女性は脳のサイズが小さいにも関わらず、密度が高いことにより言語能力などで男性より秀でた特徴を持っている」ということが示唆されている。この内容に最も近いのは、Eの「女性の方が脳の大きさが小さいが、女性の方が知能的に男性より劣っているわけではない。」である。選択肢A, Cは本文に述べられておらず、またB, Dは本文の内容に矛盾している。

2. 「著者は有名人の不品行を何の例として使っているか」

×A 脳の機能の違いは、全ての職業の人に当てはまるわけではないことを強調するため

×B 女性の持つ大きなブレーキ機構が、理性的な行動に結びつくわけではないこと

×C 酔ったときは男女の脳の機能の差が少なくなることを示すため

D 女性の方が男性よりも、難しい状況にうまく対処するという議論を補強するため

×E 女性の方が男性よりも、不適切な行動をしてもうまく逃れるであろうことを示唆するため

第15パラグラフの内容が問われている。ここではある有名な女優が酒に酔って飲酒運転で捕まっても、警察に協力する理性があったのに対し、別の俳優が逮捕された際は、完全に理性を失った例が述べられている。これは第13, 14パラグラフで述べられていた、女性の方が精神的に厳しい状況でも、うまく対処できる能力が高いという内容の実例を示すものであり、選択肢においては、Dの「女性の方が男性よりも、難しい状況にうまく対処するという議論を補強するため」という内容が最も適切。

(語彙 get away with ~でその場をうまく切り抜ける、うまく逃れる)

(3) 以下の内本文の内容に一致するものはどれか。

a.-(T) 「女性の脳は男性よりも小さいが、様々な面において男性の脳より効率的である」

先の(2)-1 の問題が分かっているならば簡単に答えられる問題。本文の最初の箇所、女性は脳の大きさが男性よりも小さいにも関わらず、男性よりも記憶や言語に関わる脳の領域が大きくて脳内の血流がよく、特定の部位の密度が男性より高いことが述べられている。さらに、本文の後半では、感情を抑制する機構が女性の方が大きく、緊迫した状況でも感情をよりうまく抑制できる点が述べられている。よってこの内容は正しい。

b.-(F) 「IQ テストの点数が似たようなものであったので、脳の生物学的な違いは、男女の行動における違いの説明とはなり得ない。」

これは明らかに誤り。確かに IQ テストの点数は男女であまり変わらないことは述べられているが、本文のほとんどが男女の脳の違いと、それに起因する男女の特徴を述べたものである。脳の機能の違いによって男女が異なった行動をする例もたくさん登場しており、誤り。

c.-(F) 「扁桃核の機能の仕方の違いは、男性が女性よりも言語を容易に習得できるかということを理解する上での助けとなる。」

amygdala (扁桃核) は感情を抑制する機能を持つ脳の部位であり、言語の習得との関連は本文では述べられていない。また第 3 段落において女子の方が男子よりも言語の習得が速い点が述べられている。よってこの選択肢は誤り。

d.-(F) 「男性の脳内に白質が多いのは、他人とうまくやっていきたいという強い願望の表れである。」

男性の脳に白質が多いことは第 5 段落において述べられているが、それによって男性は空間処理や集中力に長けているという。脳の発達と遺伝的要素との関連は第 7 段落で述べられているが、これによると男性は狩りに行く必要があったので、未知の土地でもルートを見いだす必要から、空間処理の能力が発達したと述べられている。いずれの箇所でも問題文の内容は書かれておらず、間違いの選択肢。

e.-(T) 「経路を見つけ出す能力の性的な違いは、何千年にも渡る、社会における性別による役割の違いから来ている。」

第 8 段落に「何千年にも渡り、男性と女性は移動に関して明らかに異なる思考回路を発展さえ、男性は慣れない土地を歩くのに幾何学的手がかりを用いるすべを得た。」と書かれているように、正しい内容。第 7 段落の内容も参考になる。

f.-(F) 「男性の方が夫婦げんかの詳細を覚えているという事実は、男性の右脳が女性より発達していることを示している。」

これは明らかに誤りだろう。最終段落によると女性の方が男性より新婚旅行でけんかした際の詳細を覚えており、詳細な点を追うのは左脳の役割であると述べられている。

g.-(T) 「心がかき乱されるような状況に直面した場合、女性の方が男性より、身体的な苦痛を感じる傾向がある。」

16-18 段落の内容に一致する。不快な映像を見せた実験によると、女性は消化を調整している器官が活性化され、憤慨した際に吐き気を覚えたり、眠れない症状が出たりすると述べられている。

## Part 2

## 全訳

そして私は、祖母達のことを思い出しながら、女たちの果樹園の中にある森で佇んでいた。木々の向こうでは4人の叔母達が私を待っていた。アサナは祖父の第一婦人<sup>1</sup>の娘であり、その崇高なプライドは母から娘の血管に、川の川のように流れていた。優しいメアリ。彼女から愚かな子供達は恐れて逃げたが、彼女は私の髪を結ってくれ、まるで私を自分の子供であるかのように世話をし、毎朝の話をしてくれた。ハワは私の子供のころと変わらない、失望を予知されたような表情をしていた。挨拶がほぼえみもなく、彼女にはつんざりである。そしてアサナは私の父と同じ母から生まれ、まるで私がいつの日か彼女と同等になるかのように、他の大人が決してしなかったように私に語りかけられた。

叔母たちの存在が私の幼少期の中心を埋めているものだった。唯一の叔母達というのでは無く、夫のいない叔母達という意味で。アサナは未亡人、メアリは未婚、セーラは離婚。ハワの夫がどうなったかははっきりとは分かっておらず、立ち止まった謎のまま。彼女たちの身の上話は以前聞いたことがあるのだが、誰かが話してくれたのか思い出せない。子供の頃は宿題をやったり、白黒テレビが壊れないかと試したりしながらタバコを吸った。幼代の頃は自分の部屋で回転がって黄色いトランジスタラジオをいじりながら、好きな曲が流れてくるのを待っていたものだが、おらず忙しくなかった。4人の叔母達はしょっちゅう父の家はやってきていた。父が一連の仕事で海外に赴き、私がそれについて大学に行くまでは。

ここらに戻ってきて、私は叔母達に、全ての語られなかった事に思いを巡らせ、そしてそれを叔母自身に、つまり語られなまままでいること、問われないままであることの中に見いだした。

ここに集められたのは、叔母達の物語だ。もっとも今は私がどのように取り扱ってもよいので、私のものでもあるのだが。私に与えられた祖父の農園の中心に。ある場所でもまり、別の場所でも終わる話。それは幾度も書き直され、小石のように摩耗してなめらかなで、磨かれていた。よって私はひょっとすると彼等達はもう計画し、私に話すことをずっと待っていたのではないかと後に思うようになった。

その日私は私を待っている叔母達から離れ、森に入り、水辺に向かった。川はそのさらに先で霧々を取り巻くように流れており、二人の腕に抱かれる女性のように村はその川に抱擁されていた。小道の両側に影が落ちていた。鋭い草が私を突き出してくる。手をひっぱこうと伸び出していた。毛が見えない糸を降りてきて、私の目の前をくるくると回った。まるで空中で上がっていく前に私をあらゆる角度から調べ上げるように。キ

ジラミが私の顔より半分くらいねばねばしたものをひっかけた。私は柔らかい楕円形の葉のつぼみの背の高い木の前で立ち止まり、頭をぬぐった。木の枝には数百も眠っているコウモリがぶら下がっていた。私がかけている一匹が動き、羽を広げてまたかごにやりきつゝ巻き込んだ。しばらく片方の目が暗がりにから私を見ていた。真赤な実が緑に映え、あちこち揺れていた。木に生息しているとけいぞつアリに気をつけながら、私は手を伸ばし、一組の果実を摘んだ。果肉に舌を立て、臭いを嗅ぐ。コウモリの実だ。失われた果樹園。ここは全て立派な並木路だったのだ。

一瞬、私は過去でも現在でもなく、現実でも非現実でもない場所を歩いた。叔母達がロソロンと呼んでいたものだ。あなたがどんな人で、どこでこれを盗んできたとしても、きっとあなたもそこへ行くことがあるはずだ。ロソロン。それは夢と覚醒の間にかかっている夢幻的な橋。

そこで私は一瞬、それを確かに聞いたと思う。叔母に勝ったというつかの間の誇りに似ているかのような、ふざけて勝ち誇ったような子供の笑い声を。大地をパタパタと歩かせる平らなアフリカ人の素足のたどる音。仕事をしながら女達が歌う鼻歌。しかしそれらは、頭上を飛ぶツルの鳴き声や羽の音と混ざり合っている。虫の羽音だったのかも知れない。私は立ち止まって懸命に彼らの音を聞き取ろうとしたが、年月の重積の塵はあまりに厚かった。私はその時までにはすでに私のものになっていた荒れ果てたロービンプランテーションを歩いた。法律や権利によってもない。法律でもサナの息子の子のアルファのものであると見なさざるだろう<sup>3</sup>。しかし私がその農園をなんともできない力を持った最後の人物であるというたぐいの理由で、望めば私のものだった。

水遊びでやってくる一羽の鳥が見つかる中、少年達が水遊びをしていた。私も見かけると、もっとよく私のことを見ようと、彼らは水遊びをやめた。尊大な老人のようだが鼻が腫れ、鼻水に覆われた鼻で軽快に鼻をすすりながら。私はほえんだ。彼らが突然ほほえみ返したとき、とても歯並びのよい歯が見えた。ある少年は只今、唇に舌を回して寄りかかっていた。微笑みの上三日月のような目があった。彼の耳には私の息子と同じ位置に小さく突き出した軟骨があった。早朝の飛行機に乗るため、家を出る前に、娘の隣で眠る息子のまわりに同じ場所に、私はかがんでキスをしてきたのだ。

そしてその後祖母の家の中で、木食い虫が細かく格子模様を付けて鉛戸の窓を押し開けた。窓の漆が剥がれるで乾燥した肌のようにまだはかばか落ちていた。下の粘土は赤みがあり、もろく見えた<sup>4</sup>。汚くない部屋には、柱ベッドの柱の残骸が立っていた。私はかつて祖父が暮らしていた、子供の頃私が父の働いていた港町からここを訪ねた時、どんな風であったか思い出した。その時は、祖父か叔母か誰かが私を抱き上げ、連れて行ってくれるまで、祖父を前におびえ、混乱して座っていた。私の父は祖父の下位の部類だったが、私の父が最も成功した息子であるという事実だけは、私を祖父の前へ連れてきてもよいと祖父に認めさせた。

部屋の前にはかつて、納箱が大きな木の順に重ねて置かれていた。今は無くなってしま

ったが、束の間、箱の中に入っていたかもしれない物に思いをはせた。色あせた藍色の織物、古びた洗濯糊のついた上品なボウンス、半透明の紙に書かれた手帳、革の日記帳。言葉に思いを馳せる。しかし、それは違う。ここでは過去はコーヒー豆の箱の隅に残り、人の歴史は耳の形の中に捉えられ、そしてそうした最も大切な思い出は、最も安全な場所に隠されている。火事や洪水、戦争から安全な場所。物語の中にある。物語は記憶され、語られるのを待っている。あるいは単に聞かれるのを待っている。

物語を守り伝えるのは、農園の世話をするのと同じく、水夫達の仕事だった。そして私が日暮れの中、影を浮かびあがらせて座る叔母達のところに向かうと、私は森の中の農園から夕暮れと水夫達、女性達を思い出す。

<sup>8</sup>ある物語が心に浮かぶ。誰か私に話してくれたのかまるで記憶がないのだが、ずっと前から知っているように感じる物語。

500年前、ポルトガル王の旗を掲げた船が大島の湾曲部を回っていた。ウツクデ岬諸島のどこかで風が止まり、進めなくなってしまう。食料と水が乏しくなった。ついに風が船を哀れんでくれた時、風は船を東の海岸に向けて押し流した。そこで船長は一連の天候変化を見つけ、碇を降ろした。水夫達は先づきに身をかがめてボートを岸までこぎ、浅瀬を身を引かずりにながら進み、砂浜の木陰に入った。そして彼らは立ち上がり、信じられないといった様子で周りを見回した。想像してみてもいい。熟したマンゴー、はちきれんばかりのスターフルーツ、顔の大きさほどもあるアボカドが彼らの顔の前にぶら下がっていた。パイナップルの優雅な茎の先端が元気づけるようにうなずいているかと思えば、サツマイモやヤマイモが地面から出てきて、そしてたくさんのバナナが彼らの顔から下がっていた。水夫達は懐かしいエデンの園を見つけたと思ったに違いない。

水夫達はそれを自然の豊かさであると考え、女達の農園から盗んだ。彼らもエデンの園を見つけたと考え、実際にそうだったのだろう。しかしそのエデンは神の手によって作られたものではなく、水夫達によって作られたものだったのだ。

私は彼らが今ここに来たらどう思うだろうかと考える。森がもたらしてくれる全ての素晴らしい贈り物の中で、人々を立て、コーヒーを目にしたなら。

## 訳注

## 1 段落

For wife. ここでは第一婦人という意味。senior は多義語であり、文脈により判断する必要があるが、ここでは「(最も)先参の」という意味。長く婦人の地位にあるということ、最初に結婚した第一婦人であることが解かる。その後のストーリーから、アサナの母が祖父の第一婦人であることが分かる。

## 2 段落

Not my only aunts, (by any means), rather my husband's. ここでは「唯一の叔母たちというわけではないが、夫が必ず、私の家にしょっちゅう来ていた」という意味において「私の幼少期を彩った」という意味。なおここでは "by any means" は否定を強調する表現であり、無理に訳出しなくてもよい。"by any means" には「どんな手段を使っても」という意味もあり、そちらの方がなじみがあるだろう。

ex. "I must win this match by any means, fair or unfair."

「この試合には卑怯であろうとならうが、どんな手段を使っても勝たなければならない」

## 3 段落

Conventional law would probably deem it to belong to Alpha Asana's son. アサナが第一婦人で、その息子のアルファに法的には相続権がある。しかしかつて栄えていた農園は荒れてしまっており、イギリス人に暮らす比較的豊かな主人公の女性の農場を受け継ぎ、手当てできるだけの能力を持った最後の人物であるという意味。

## 4 段落

tender looking tender には「優しい」という意味があるが、これは人に対して使われる。対象がモノである場合、「柔らかい」「壊れやすい」という意味になる。よってここでは見た目が優しいのではなく、窓の下の壁の補土がもろく、崩れやすい印象であることを示している。

## 5 段落

In the empty room stood the tangled metal wreckage of what was once a four-poster bed. 文は倒置文で、この文の動詞は stood。単語は句の後ろの句。後続の主語の部分が長いので、動詞の stood が先に書かれている。

## 6 段落

主人公の女性は成功した農園主の祖父の 10 番目の婦人と、間に生まれた息子の娘である。一



夫多妻の社会では年長の妻から生まれた子供ほど重んじられる傾向があるが、主人公の父が成功した人物であったため、主人公も祖父の跡を継ぐことを許されたという意味。

## 段落

物語の舞台となっているシエラレオネ共和国では絶大な内戦や、飢饉などの被害にあっている。ここでは時を経て風化する物質的なものと、人々の中に生き続ける思いの対比が対比されている。

## 段落

原文では～段落と～段落より前の箇所に書かれている文であり、入試問題では問題を作成するために後ろに挿入されている。急な話が飛んだと感じた方もいるかも知れないが、出題者が勝手に本文の順番を入れ替えているので前後関係が分かりにくい。

## Vocabulary

## 段落

magnificent (形) 壮大な、崇高な

vein (名) 血管

do one's hair 髪を結う、髪を整える

foretold(他動)(foretellの過去、過去分詞) ~を予言する、予告する

as though ~たかまゝであるように

## 段落

by any means (否定文で) ~では決してない (=by no means)

something of ~ ちょっとした～

fiddle with ~をいじくる、もてあそばす

## 段落

pebble (名) 小石

retelling (名) 書き直された物語

## 段落

further on ~より先で

embrace (名) 抱擁

crook (名) (川、腕の) 湾曲

huddle 自動詞 寄り寄せ合う、群れる

reach out ~手を伸ばす

antenna (名) くるぶし

caterpillar (名) 毛虫

descend (他動) ~を降りる

twirl (自動) くるくる回る

hoist (自動) ~を持ち上げる

sucker (名) キス

smear (他動) (油などを) 塗りつける、

waxy (名) ろうのような、柔らかな

elliptical (形) 楕円のような

段落

here and there あちこちで

scarlet (形) 緋色の、深紅色の

stinging (形) げの、指すような

flesh (名) 果肉

grove (名) 林、果樹園

段落

wakefulness (名) 夢のような、夢幻的な

段落

triumphant (形) 勝ち誇った

crown (他動) ~に王冠を戴せ、~に報いる

crane (名) ツル

段落

by then その時までには

段落

solemn (名) 厳肅な、まじめな

belly (名) 腹

puff out 膨らませる

omnipotent (形) 尊大な

sniff (自動) 臭いを嗅ぐ、鼻をすする

sniffily (副) 軽快に、鼻先に

snot (名) 鼻水

encrust (他動) ~の表面が覆われる

nostril(s) (名) 鼻の穴

recline (自動) 横たわる、もたれる

crescent (形) 三日月型の

grin (名) 微笑み

crunchage (名) 軟骨

段落

shutter (名) 銃戸、シャッター

finely (副) 細かく、精巧に

lattice (他動) 格子をつける、格子模様にする

woodworm (名) 食木虫

plaster (名) 漆喰

flake (他動) はがれ落ちる、剥ける

reddish (形) 赤みがかった

wre (名) 残骸

tangled (形) もつれた

段落

stack (名) 積み重ね

ascending (形) 上昇する、だんだんと大きくなる

chest (名) 箱、衣類や道具などの収納箱

fleetingly (副) すばやく、はかなく

faded (形) (色などが) 弱まった、(色が) 褪せた

indigo (形) 藍色の

fabric (名) 織物

elegant (形) 上品な

gown (名) ガウン

leather-bound (形) 革製の

render (他動) (人物を) ~の状態にさせる、変える、~に翻訳する

scent (名) におい

段落

guard (他動) ~を守る

tend (他動・自動) ~の手入れをする、~の傾向がある

silhouette (他動) ~の輪郭を浮かび上がらせる

plot (名) (栽培などの) 区画

段落

for years 何年もの間、ずっと前から

段落

round (他動) ~を回る、一周する

becalm (他動) (風が止まって帆船を) 進めなくする

run low of ~が乏しくなる

sight (他動) ~を見つける

stop (他動・自動) かがむ

row (自動・他動) ボートをこぐ

ashore (副) 岸へ、浜に

gaze about 見回す

dangle (自動) ぶらぶらがる

avocados (名) アボカド

star fruit (名) スターフルーツ (断片が星形になる、黄色いフルーツ)

stalk (名) 茎

encouragingly (副) 元気づけるように

yam (名) ヤマイモ、アフリカ芋、アジ、南米などで広く主食として栽培されている芋。

peep (自動) のぞき見る、姿を探す

段落

take to be ~だと合点がいく、~だと納得する

abundance (名) 豊富、あふまる

段落

fresh coffee 入れたてのコーヒー

## Outline

Aminatta Fomba の小説、Ancestor Stones からの出題。Aminatta Fomba はイギリス人の作家で、アフリカ人の父、ヨーロッパ人の母を持つ。イギリスのグラスゴーで生まれ、アフリカ・シエラレオネ共和国及びロンドンで育つ。シエラレオネはダイヤモンドの産地として知られる。同時に、ダイヤモンドをめぐり紛争が起こり、多くの国民が犠牲となった。映画『ブラックダイヤモンド』の舞台でもある。"favorite" はアメリカ英語では "favourite" の綴りなどから分かるように、イギリス英語である。

Ancestor Stones は作者自身の生い立ちを反映した小説。主人公 Abby はアフリカ・シエラレオネ出身の父、イギリス人の母を持ち、現在はイギリス人と結婚し、ロンドンに住んでいる女性である。Abby は冒頭の冒頭でシエラレオネの親族から手紙を受け取り、祖母の農園の主になったことを告げられる。長く故郷を離れていた Abby は、シエラレオネを訪れることを決意し、そこで母の叔母と出会う。この叔母が語るストーリーを中心に、アフリカにおける近代化の問題など、様々な要素を描いている。

さて、問題の冒頭で主人公が手紙を受け取り、アフリカに着いた後の話となる。冒頭の重要な部分が抜けているため、何が話であるか最後まで非常に分かりにくい。また、後半の 3 段落は、原文の前の箇所と順番を入れ替えて掲載されている。非常に分かりにくい。原文は興味深い小説なのだが、この掲載方法で本文全体を理解するのはなかなか難しかっただろう。

小説は理論より感性に訴えかけるものであり、論文のように理論的に書かれていない。よって細かい論理的な理解をするのではなく、想像力を駆使してストーリーを読むことを心がける。さらにこの問題の場合はストーリーの肝心な箇所が欠落しているのに対し、原文とは違う順番で文章が掲載されている箇所があり、本文及びそれに関連する問題で理解できない部分があってもあまり気にする必要はない。

## &lt;Point&gt;

国際教養学部の入試では長い文章の一部を引用し、問題を作っているケースが多い。この問題のように文章の引用がされると、最後までさっぱり意味が分からないという問題もある。このような問題に関してはあまり気にして仕方がないので、分かる部分からなるべく多くの問題に答えたいという姿勢で臨みたいところ。

## Answers

- (1) A, D, F, G  
 (2) a-F, b-C, c-E, d-H, e-C, f-A, g-D  
 (3) 1-D, 2-D, 3-A

## (1) 筆者の主張に一致する文を4つ選べ

「500年前、ポルトガルの船乗りがアフリカの海辺の村にやってきて、現地の農園からフルーツを盗んだ。」

パラグラフ16, 本文の内容に一致。500年前にポルトガル人が漂着し、現地の住民の農園で栽培されていた果物を食べた様子が描かれている。

×B 「私がアフリカに戻ってくる時、息子を連れてきた。」

これはひっかけなので注意したい(細かい箇所だが、第10パラグラフにおいて「早朝の飛行機に乗るために家を出る前に、娘の隣で眠る息子のまさに同じ場所に、私はかばんでキスをしたのだ。」と述べられており、主人公の女性、つまり筆者は子供を連れてきていないことが分かる。

×C 「祖母の家で織物、ガウス、手紙、日記が詰まった箱を見つけた。」

第12パラグラフにおいて、祖父の家にあった箱はすでになくなってしまっていると述べられている。不可解。主人公の箱の中身にあるものであるものか不明か浮かべている。寺を建て失物として見つかった物と、今なお叔母達の中に残る物語との対比を読み取りたいとする。

D 「子供の頃の思い出を思い出しながら、私は叔母達の思い出を伝える語り部となった。」

これは国語的な問題でやや難しい。第4パラグラフにここで書かれている話は、叔母達のもので、それは私に伝えられるのを待っていたかのようにあり、今は農園と同じように筆者の自由にしてよいものであること、そして第13パラグラフに「物語を守り伝えるのは農園の世話をやることのように、女達の仕事だった」と書かれていることから、筆者が物語を受け継ぎ、次の世代に受け継ぐ役割を感じている様子が伺える。

## POINT

原作の冒頭では、筆者が住んでいるイギリスから、内戦で疲弊したアフリカの祖国に農園を受け継ぐために訪れるという物語の情景が描かれているが、このような筆者の立場が分からなければ物語を伝え、意義という言葉のは分からない。小説全体を知らなければ知り得ない作品の背景が問題に反映されており、あまりよい問題とは言えない(要は小説を全文

読んだ人が、試験の引用節だけでなく各問題に与えられる文章を検査しないまま問題を作っているという点のこと。

E 「4人の叔母達は、夫がいなかったため、父の家を頻繁に訪れていた。」  
これは部分的に誤り。第2パラグラフの最後で、4人の叔母達には夫がいなかったことから、筆者の父の家を頻繁に訪れていた様子が述べられている。よって正しい内容。

F 「私の祖母は祖父の若い妻の一人、父と叔母のサラの母さんだ。」  
正確に答えるには本文の2カ所を見なければならない選択肢。まず第1パラグラフの最終文で叔母のサラは主人公の父と同じ母を持つ兄弟であることが分かる。また第11パラグラフにおいて主人公の父は、祖父の若い妻の息子であったことが述べられている。よって正しい。

G 「家族の中で生きているもの(他にいなかった)ので、コーヒー農園は私のものだった。」  
これは明らかに誤り。第9パラグラフで主人公は法的に祖父の農園を受け継いだのではなく、農園の再建に何らかの手を打てる人物であるからそれを受け継いだということが述べられている。親族である4人の叔母達いることから間違いであることが明らかだろう。

## (2) 空所を埋める最も適切な語を選べ。

(a) - a (whom)

sented Mary, from (whom) foolish children ran in fright,...

文のこの要素が省略されているからと考えると分かりやすい。この文では、"foolish children ran in fright from her"と目的格が入る。よって入る先行詞とする、目的格の関係代名詞が入るので、"whom"が正解。

(b) - c (whose)

They were the only (whose) presence filled the background of my childhood.

意味から考えるとこの箇所は「叔母たちの存在が私の幼少期の背景を埋めているものだった。」という意味になる。空欄には「叔母達の」という意味の語が入る。よって所有格の関係代名詞を入れればよいので、"whose"が正解。

(c) - e (whoever)

Probably you have been there yourself, (whoever) you are and where in the world you are reading this. Rothoron, the dreamlike bridge suspended between sleep and wakefulness.

これは意味から答える箇所であるが、このパラグラフでは森の中を歩いていた主人公が、ロソロンという夢でも現実でもないその中間の世界にしばし足を踏み入れるが、あなたもきっと経験したことのあるは、だ、という内容が述べられている。空欄の後続の箇所に"wherever in the world"（世界のどこであつても）という表現があるので、空欄の箇所には"whoever"と呼称する"whoever"を入れ、"whoever you are"（誰であつても）とするのが適切。

なる法的に"whoever"は譲歩を表す関係代名詞で、ここでは節(S+V)を作っている。譲歩の内容は先で訳した方が日本語として自然である。

(d) - h (no word)

But it was mine if I wished, simply because I was the last person ( ) with the power to do anything with it.

空欄以後には節がないから名語(S)、動詞(V)の関係がない)選択肢はいずれも関係詞(関係代名詞)となり、節を導くので、後続の箇所には主語と動詞の関係が成立していないことはならない。つまりこの箇所は空欄であることが正しく、hの(no word)が正解。

(e) - e (which), (f) - a (that)

(e),(f)は which と that の用法が問われている。まず(e)では空欄の後半節が挿入されているが、



このように挿入される節を導く場合には which がよい、that が使えない。

And when they smiled back, (which) they did suddenly, they displayed rows of perfect teeth.

例 This map, which we used in Japan, is very old.

× This map, that we used in Japan, is very old.

節(S+V)が挿入され、文に情報が増えている場合、that が使えないことは覚えておこう。節が挿入されているかどうかは、前後にカンマがついていて、その節を取り除いても文が成り立つかどうかで判断すればよい。

This map, which we used in Japan, is very old.

This map is very old.

問題文も which が導く節がなくて成り立ちうる。

And when they smiled back, (which) they did suddenly, they displayed rows of perfect teeth.

And when they smiled back, they displayed rows of perfect teeth.

よって(e)はcのwhichが正解。

一方(f)は難しいが、これは it is ~ that の強調構文と考えればよい。構文が分かりませんが、it was only the fact that ~ that made him となっており、the fact that 以下の強調されている箇所が、下の文の黒い箇所が強調されている箇所である。

It was only the fact that my father was the most successful of his sons (though still only the younger son of a junior wife,) that made him dign to have me in his presence at all.

なおこの文の最初の that は同格の that、2番目の that は関係代名詞で強調構文の that である。強調構文の that は、強調する対象が事物の場合、which でもよい。よってここでは c の which と a の that のどちらでもよいということになるが、(e)はまさに which を使っているので、that が正解。

この構文は難しいので、(e)で節を挿入して、which が使われ、(f)に残りの that を使えばよい。

(g) - a (who)

これも厳密には難しい問題だが、「誰」という意味の語を入れないので、a の"who"が正解。この文で、who が 2 回登場するので違和感を覚えるかもしれないが、これは小説作品として、読者に独特のリズムを印象づけるため、意図的に"who it was"が付け加えられていると考えればよい。

A story comes to mind. A story I have known for years, it seems, though I have no memory now of (who it was) who told it to me.

「それが誰で、誰が話してくれたのか」は「誰が話してくれたのか」とほぼ同じことを表しており、どちらでも意味は通じる。これは小説の一文なので、場合によっては前者の方がリズムがよい状況があるという程度に考えておけばよい。

### (3) 問いと答えよ

1. becalmed ship は？

"becalmed"は風が止まって進めないことを意味する。日本語にも風が止まって船が穏やかになることを意味する「凪」という言葉がある。あまりみかひな単語ではないので、いかに前後から類推できたかがポイントとなる。選択肢の内容は、いずれも本語に登場するポルトガルの船に関する説明としては正しい。直後で、「船のように、吹き、岸にたどり着いた様子から、風が止まっていて船が動かなかった様子が分かる。よって前の文の形容詞である"becalmed"は、船が立ち往生している様子を表していることが分かる。

- ×A 君主によって探検に送り出された
- ×B 未開の地へ行き着いた
- ×C 船員の食料が乏しくなっていた
- D 風が止まり動けなくなった

2. no less than a place like the Garden of Eden が意味するのは？

"no less"の基本手的な意味は「同等に」であるが、「確かに、まさに」という意味もある。ここでは"no less than a place than the Garden of Eden"で「どの場所ならぬまさにエデンの園」という意味になる。この表現を知らなくても、文脈を讀み取ることが大切。風が止んで食料が尽きた船から陸に上がった水夫達は、豊富なフルーツのなる農園を見て、それをエデンの園、つまり地上の楽園そのものを見つけたに違いないと思ったというストーリーを踏まえて考える。

- ×A エデンの園よりすばしかなかった
- B エデンの園ほど美しくはなかった

- × C エデンの園より小さくはなかった
- D 疑いなくもなくエデンの園だった

この文章のキーポイントを最もよく表しているものはどれか。

消去法で正しい答えとなる。しかし、この内容が本当に「キーポイント」であるかどうかは、4人の女性の話を通してアフリカの一国の歴史や近代化などの問題を浮き彫りにするという本書全体の内容を踏まえなければ本来答がられないものである。このような出題もあるので、分かる範囲から我慢して解くことが大切。

A 伝承で歴史を語り継ぐ女性の役割の正しい理解  
消去法で正しい選択肢。筆者は祖父の農園を兼ね、4人の祖母達からそれぞれ物語を受け継ぎ、その話を通して祖国を作品として描いている（ただし前述の通りこの内容が引用箇所とだけから分かるものではなく、議論の余地がある問題と言える）。B, C, Dと比較するとAの内容は一般的な物語の「キーワード」になりやすい内容であることは読み取りやすい。

× B エデンの園を参考に、宗教が我々に与える影響の認識  
これは明らかに誤り。本文中に宗教的な要素はほとんど見受けられない。またエデンの園は、農園の豊かさから飢えた兵員達が地上の楽園と思っていたという意味で用いられており、宗教的な意味合いはあまり含まれない。

× C 筆者の相続権を主張するための、アフリカへの帰郷  
パネグラムの書かれているように、主人公は法的に農園を受け継ぐのではなく、農園の再建に関し手を打てる人物が他にいないという意味で農園を受け継いでいる。

× D 自分が若いころの出来事を、我々がいかに誇張してしまうかの理解  
主人公の子供の頃の様子も少し描かれているが、それが誇張されているという様子は伺えない。

### Quote

*Denis Waitley* (デニス・ウェイトリー) アメリカの作家、講演家)

"Determination gives you the resolve to keep going in spite of the roadblock that lay before you."

「決心することは、あなたの行く道にどのような障害があっても進み続ける決意を与えてくれるのである」